



## 月刊ジオパーク 令和6年3月号

### 喜界島ジオパーク推進協議会事務局

## 喜界島でのジオパーク学習

喜界島の小中学校においてもジオパーク学習がスタートしました！

喜界島は、世界で2番目に速い隆起速度を誇り、勇壮な隆起サンゴ礁段丘が発達する島です。しかし！島の多くの方は、自分が生まれ育った島が世界的にもたいへん珍しい島であるにもかかわらず、その貴重さに気付いている方は多くありません！喜界島ジオパーク（構想）を推進する立場としては、この状況を何とかしなくてはなりません！そのためには、島のあらゆる世代の方々に、島の貴重さを知ってもらう必要があります！

町では、数年前から島の成立ちと自然の理解を深めるため、公民館講座において様々な「ジオパーク学習」に取り組んできました。このジオパーク学習は、ジオパークに認定された地域やジオパークを目指す地域において行われる、全世界に向けた教育・学習活動です。そして、町では今年度（令和5年度）より、喜

講師を務めたのは、ジオパーク推進協議会事務局の鈴木倫太郎統括研究員です。喜界小学校と早町小学校では、3年生以上の各学年で理科や社会で学習内容を沿う島の事象を中心に授業が進みました。3年生では海のサンゴについて、4年生では地図で見る喜界島、5年生ではサンゴ礁と島の土について、6年生では島の成立ちと地層に関するお話を、動画やクイズを交えて楽しく教えてもらいました。中学校の授業では、鈴木先生からこんな質問が、「世界にあるデイズニーランドの数は？」正解は6か所です。そして、「実は喜界島は、完

新世（約1万7000年前から現在までの期間）という時代以降の明瞭な隆起サンゴ礁段丘が見られますが、これは世界的に見てもパプアニューギニアのヒュオン半島、カリブ海のバルバドス島とこの喜界島の3か所に限られます。ということは、皆さんが生まれ育った喜界島は、

世界中で数的にデイズニーランドより少ない珍しい場所なのですよ！」と教えてもらうと、生徒たちは大いに盛り上がりました。そして、生徒たちは喜界島が世界的にも珍しいんだ！という事を知ると、授業で紹介される島の成立ちや自然に関する事を、とても興味深く聞き入っている様子でした。また、ジオパークはその地域のあらゆる自然・文化遺産と関連した地質遺産を活用する取り組みです。喜界島には多くの大地の恩恵があり、授業では生徒たちとその活用についても考えてみました。これから島の将来を担う中学3年生の皆さんには、「喜界島でどんなジオパークを指しますか？」というお題で喜界島のことから考えてもらい、生徒たちからは様々な意見が飛びだしました。ジオパークを通じた喜界島の未来は、どうやら明るいようです。

喜界の小中学校におけるジオパーク学習は、教育委員会と学校の先生方とも協力し、令和6年度以降も発展的に継続していきます。今後も私たちはジオパーク学習を通じ、島の子どもたちが島の独自性をと大地の恩恵を理解し、それを誇りに島の将来を担ってほしいと願っています。



早町小



喜界小